

介護職員等特定処遇改善加算にかかる情報公開(見える化要件)

介護職員のさらなる処遇改善を図るため、令和元年10月の消費税引き上げに伴う介護報酬改定において「介護職員等特定処遇改善加算」が創設され、当法人におきましても加算算定を行っております。当該加算を受けるためには以下の要件を満たしている必要があります。

介護職員等特定処遇改善加算の算定要件

1. 介護福祉士の配置等要件 … サービス提供体制強化加算(Ⅰ)又は(Ⅱ)の区分
 - ・デイ・ショート:(Ⅰ)に該当…①介護職員の総数のうち介護福祉士の割合が80%以上、または介護職員総数のうち10年以上の介護福祉士の割合が35%以上、②質の向上に資する取組を実施
 - ・特養:(Ⅱ)に該当…介護職員の総数のうち介護福祉士の割合が60%以上
2. 現行の処遇改善加算(Ⅰ)から(Ⅲ)を取得していること。
加算(Ⅰ)の場合は、キャリアパス要件Ⅰ・Ⅱ・Ⅲすべての基準を満たす。
3. 介護職員処遇改善加算の職場環境要件について、特定加算は6つの区分でそれぞれ1つ以上取り組みを行うこと。
4. 介護職員処遇等特定改善加算に基づく取組について、ホームページの掲載等を通じた見える化を行っていること。

3.の見える化要件とは、新加算の取得状況や賃金改善以外の処遇改善に関する具体的な取組内容を、介護サービス情報公表制度や自社のホームページを活用し、外部から見える形で公表することです。

以上の要件に基づき、当法人における処遇改善に関する具体的な取組(賃金以外)について、以下のとおり公表します。

(1)キャリアパス要件

① キャリアパス要件Ⅰ

- イ. 介護職員の任用における職位、職責又は職務内容等の要件を定めている。
- ロ. イに掲げる職位、職責又は職務内容等に応じた賃金体系を定めている。
- ハ. イ、ロについて、就業規則等の明確な根拠規定を書面で整備し、全ての介護職員に周知している。

② キャリアパス要件Ⅱ

- イ. 介護職員の職務内容等を踏まえ、介護職員と意見交換しながら、資質向上の目標及び①、②に関する具体的な計画を策定し、研修の実施又は研修の機会を確保している。

・実現のための具体的取組①…資質向上のための計画に沿って、研修機会の提供又は技術指導等を実施するとともに、介護職員の能力評価を行っている。

期初に年度研修計画を策定し、ネット配信研修による動画視聴研修を主体とした研修を実施、研修を受講した介護職員については、研修の報告書を作成・提出をさせている。
また、介護関連諸団体の各種研修についても、積極的な参加を行っている。
毎年期初に、前年度の各種評価項目について自己・指導者・責任者の評価を実施し、人事考課に反映を行っている。

・実現のための具体的取組②…資格取得のための支援を実施している。

資格取得のための受験費用や研修受講費用の補助制度、受講・受験日のための勤務調整制度を制定しているほか、資格試験合格者に対しては報奨金を制定、さらに、資格取得に応じた給与等処遇面への反映を制度化している。

ロ. イについて、全ての介護職員に周知している。

③ キャリアパス要件Ⅲ

イ. 介護職員について、経験若しくは資格等に応じて昇給する仕組み又は一定の基準に基づき定期に昇給を判定する仕組みを設けている。

・具体的な仕組み①…「勤続年数」や「経験年数」などに応じて昇給する仕組みを設けている。

・具体的な仕組み②…「介護福祉士」や「実務者研修修了者」などの取得に応じて昇給する仕組みを設けている。介護福祉士資格を有して就業する者についても昇給が図られる仕組みとなっている。

・具体的な仕組み③…「人事評価(実技能力を含む)」などの結果に基づき昇給する仕組みを設けている。客観的な評価基準を「人事考課要領」等に明文化している。

ロ. イについて、全ての介護職員に周知している。

(2) 職場環境等要件

① 入職促進に向けた取組…法人や事業所の経営理念やケア方針・人材育成方針、その実現のための施策・仕組みなどの明確化を行っている。

② 資質の向上やキャリアアップに向けた支援…働きながら介護福祉士取得を目指す者に対する実務者研修受講支援や、より専門性の高い介護技術を取得しようとする者に対する喀痰吸引、認知症ケア、中堅職員に対するマネジメント研修の受講支援等を行っている。

③ 両立支援・多様な働き方の推進…職員の事情等の状況に応じた勤務シフトや短時間正規職員制度の導入、職員の希望に即した非正規職員から正規職員への転換の制度等の整備を行っている。

④ 腰痛を含む心身の健康管理…介護職員の身体の負担軽減のための介護技術の修得支援、介護ロボットやリフト等の介護機器等導入及び研修等による腰痛対策を実施している。

短時間勤務労働者等も受診可能な健康診断・ストレスチェックや、従業員のための休憩室の設置等健康管理対策を実施している。

⑤ 生産性向上のための業務改善の取組…タブレット端末や見守り機器等の介護ロボットやセンサー等の導入により業務量の縮減を図っている。

高齢者の活躍(居室やフロア等の掃除、食事の配膳・下膳、送迎など介護業務以外の業務の提供)等による役割分担の明確化を行っている。

5S 活動(業務管理の手法の1つ。整理・整頓・清掃・清潔・躰の頭文字をとったもの)等の実践による職場環境の整備を行っている。

⑥ やりがい・働きがいの醸成…ミーティング等による職場内コミュニケーションの円滑化による個々の介護職員の気づきを踏まえた勤務環境やケア内容の改善を図っている。

以上